

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「インベスコ リアル資産成長ファンド(毎月決算型)」は、2025年1月20日に第108期の決算を行いました。ここに作成期中(第103期から第108期)の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

*当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2026年2月18日まで
運用方針	<ul style="list-style-type: none">投資信託証券への投資を通じて、主として世界(日本を含みます。以下、同じです。)のリアル資産関連株式※に投資します。銘柄選択にあたっては、ファンダメンタルズ分析およびESG評価に基づき、長期的な成長性および割安度を重視してポートフォリオを構築します。実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。 <p>※ファンドにおいて、リアル資産関連株式とは、不動産・インフラストラクチャー・自然资源・森林といった資産の保有等による賃貸料、使用料および売買等が主な収益源泉となり、安定した収益基盤を有する企業が発行する株式を示します。(以下同じです。)</p>
主要運用対象	<p>インベスコ リアル資産成長 ファンド(毎月決算型)</p> <p>「インベスコ リアル資産成長 マザーファンド」および「インベスコ マネーブール・ファンド(適格機関投資家私募投信)」を主要投資対象とします。</p> <p>インベスコ リアル資産成長 マザーファンド</p> <p>別に定める投資信託証券※への投資を通じて、世界の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されているリアル資産関連株式に投資し、投資信託財産の成長を図ることを目標として運用を行います。</p> <p>※別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ レスボンシブル・グローバル・リアル・アセット・ファンド クラスC-Acc投資信託証券(米ドル建て)です。</p> <p>インベスコ マネーブール・ファンド(適格機関投資家私募投信)</p> <p>主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。</p>
組入制限	<ul style="list-style-type: none">投資信託証券(マザーファンド受益証券を含みます。)への投資割合には制限を設けません。株式への直接投資は行いません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。デリバティブ取引の直接利用は行いません。
分配方針	原則として毎月の決算時(毎月18日、該当日が休業日の場合は翌営業日)に委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合があります。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
お問い合わせダイヤル

電話番号: (03) 6447-3100

受付時間: 毎営業日の午前9時~午後5時



インベスコ リアル資産成長ファンド (毎月決算型)

追加型投信／内外／株式



運用報告書(全体版)

- 第103期(決算日 2024年8月19日)
- 第104期(決算日 2024年9月18日)
- 第105期(決算日 2024年10月18日)
- 第106期(決算日 2024年11月18日)
- 第107期(決算日 2024年12月18日)
- 第108期(決算日 2025年1月20日)

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<https://www.invesco.com/jp/ja/>

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額					投 資 信 託 券 累 総 額	
	(分配落)	税 分	込 配	み 金	期 謄 落 中 率		
79期(2022年8月18日)	円 8,473			円 20	% 4.7	% 97.4	百万円 42
80期(2022年9月20日)	8,065			20	△4.6	97.7	40
81期(2022年10月18日)	7,390			20	△8.1	97.5	37
82期(2022年11月18日)	7,865			20	6.7	96.3	40
83期(2022年12月19日)	7,642			20	△2.6	96.1	39
84期(2023年1月18日)	7,700			20	1.0	97.7	39
85期(2023年2月20日)	7,968			20	3.7	98.0	40
86期(2023年3月20日)	7,373			20	△7.2	97.8	37
87期(2023年4月18日)	7,694			60	5.2	98.4	39
88期(2023年5月18日)	7,545			60	△1.2	97.9	39
89期(2023年6月19日)	7,888			60	5.3	95.4	42
90期(2023年7月18日)	7,766			60	△0.8	99.1	40
91期(2023年8月18日)	7,685			60	△0.3	95.8	43
92期(2023年9月19日)	7,766			60	1.8	95.2	42
93期(2023年10月18日)	7,394			60	△4.0	94.6	40
94期(2023年11月20日)	7,653			60	4.3	94.3	42
95期(2023年12月18日)	7,843			60	3.3	95.1	43
96期(2024年1月18日)	7,857			60	0.9	95.6	43
97期(2024年2月19日)	7,747			60	△0.6	95.6	43
98期(2024年3月18日)	7,773			60	1.1	95.5	44
99期(2024年4月18日)	7,618			60	△1.2	95.6	43
100期(2024年5月20日)	8,268			60	9.3	95.8	47
101期(2024年6月18日)	7,947			60	△3.2	95.7	46
102期(2024年7月18日)	8,310			60	5.3	95.7	49
103期(2024年8月19日)	8,017			60	△2.8	96.3	47
104期(2024年9月18日)	8,155			60	2.5	96.9	48
105期(2024年10月18日)	8,456			60	4.4	96.9	54
106期(2024年11月18日)	8,153			60	△2.9	98.4	52
107期(2024年12月18日)	7,961			60	△1.6	98.1	52
108期(2025年1月20日)	8,055			60	1.9	98.3	50

(注) 基準価額および分配金は1万口当たりです。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 当ファンドは、世界の金融商品取引所に上場（これに準ずるものも含みます。）されているリアル資産関連株式に投資するため、当ファンドと比較する適切なベンチマークまたは参考指標が存在しません。このためベンチマークまたは参考指標を掲載していません。以下同じです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額			投 資 信 託 證 組 入 比 率 券 率
			騰	落	
第103期	(期 首) 2024年 7月 18日	円 8,310		% —	% 95.7
	7月末	8,141		△2.0	93.7
	(期 末) 2024年 8月 19日	8,077		△2.8	96.3
第104期	(期 首) 2024年 8月 19日	8,017		—	96.3
	8月末	8,107		1.1	79.0
	(期 末) 2024年 9月 18日	8,215		2.5	96.9
第105期	(期 首) 2024年 9月 18日	8,155		—	96.9
	9月末	8,187		0.4	96.4
	(期 末) 2024年 10月 18日	8,516		4.4	96.9
第106期	(期 首) 2024年 10月 18日	8,456		—	96.9
	10月末	8,336		△1.4	96.5
	(期 末) 2024年 11月 18日	8,213		△2.9	98.4
第107期	(期 首) 2024年 11月 18日	8,153		—	98.4
	11月末	8,237		1.0	97.2
	(期 末) 2024年 12月 18日	8,021		△1.6	98.1
第108期	(期 首) 2024年 12月 18日	7,961		—	98.1
	12月末	8,030		0.9	97.6
	(期 末) 2025年 1月 20日	8,115		1.9	98.3

(注) 基準価額は1万口当たりです。

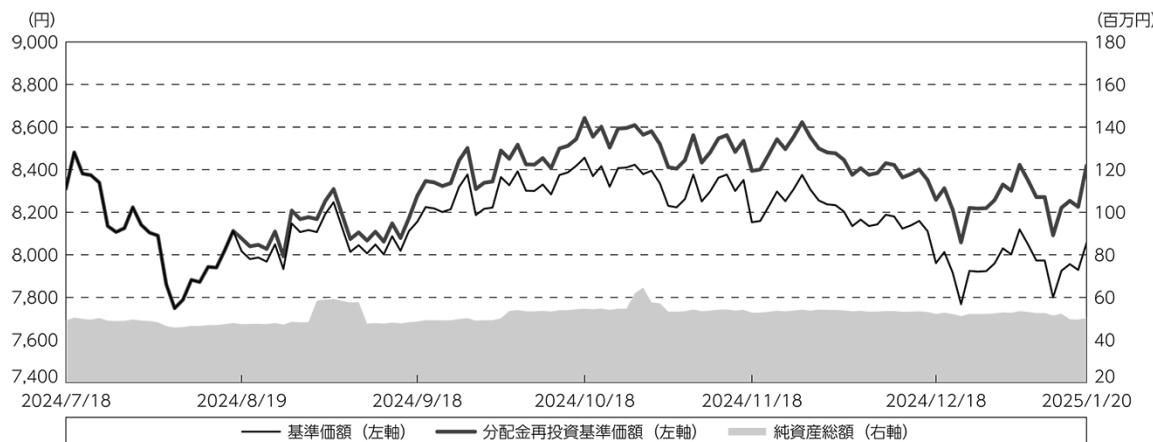
(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2024年7月19日～2025年1月20日)



第103期首：8,310円

第108期末：8,055円 (既払分配金(税込み)：360円)

騰落率： 1.3% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2024年7月18日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- 世界のリアル資産関連株式などを実質的な主要投資対象としていることから、実質的に保有する不動産（R E I T を含む）、インフラストラクチャー、自然資源、そして森林関連株式から得られるインカム・リターンが基準価額の上昇要因となりました。
- ファンダメンタルズ分析およびE S G評価に基づき、長期的な成長性および割安度を重視してポートフォリオを構築した結果、当作成期間中に業績見通しの上方修正を行ったTarga Resources社（ミッドストリーム事業）などのインフラストラクチャー関連株式が作成期中を通して堅調に推移したことが、基準価額の上昇要因となりました。

〔下落要因〕

- ・当作成期間中における米国長期金利の上昇や米国における産業施設や生命科学研究施設のファンダメンタルズの軟化などを背景に、Prologis社やAlexandria Real Estate Equities社などの不動産関連株式が作成期中を通して下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境

リアル資産関連株式（S&P Rear Assets Equity Total Return Index；米ドルベース） +3.2%

世界株式（MSCI World Net Total Return USD Index；米ドルベース） +6.4%

米ドル／円 156円08銭（前作成期末 155円86銭）

※各指数の騰落率は当作成期末時点（対前作成期末比）、米ドル／円は当作成期末の数値です。

『グローバル株式市場』

グローバル株式市場は、2024年の年央から2025年の年初にかけて米国における利下げ開始、強い人工知能（A I）需要の継続、底堅い企業業績などが確認された中で、作成期中を通して多数のセクターが堅調に推移しました。

米国では、当作成期間を通して、米連邦準備理事会（F R B）による利下げ開始やトランプ氏の大統領選挙の当選や今後の政策への期待などを背景に、裁量消費株を中心に上昇しました。欧州では、欧州中央銀行（E C B）による利下げ継続や世界経済が堅調に推移するとの見方などが支えとなり、作成期中を通して上昇基調となりました。アジアでは、日本については追加の利上げがなされたことなどが市場心理の悪化に繋がり、上値の重い展開となりました。一方で、中国では作成期中に発表された追加の金融緩和策や株式・不動産市場の支援策などが好感され、当作成期初から作成期央にかけて堅調に推移しました。

また、リアル資産関連株式に関して、天然ガス価格の上昇を受けて、ミッドストリーム関連銘柄を中心にインフラストラクチャー関連株式が堅調に推移しました。不動産関連株式については、長期金利の上昇や産業施設R E I Tなど一部セクターのファンダメンタルズ軟化などが嫌気され、上値の重い展開となりました。森林および自然資源関連株式については、木材、金、アルミニウム、トウモロコシなどのコモディティ価格が当作成期間中に上昇したことなどが好感され、作成期中を通して底堅く推移しました。

『為替市場』

当作成期間中、米ドル／円は乱高下する場面が見られたものの、前作成期末比でほぼ横ばいとなりました。作成期の前半は、米国における利下げ開始期待などを背景に長期金利は低下し、米ドル安／円高が進行しました。しかし、その後は利下げペースの減速懸念などが広がり、米ドル高／円安に転じました。

当ファンドのポートフォリオ

インベスコ リアル資産成長 マザーファンド（以下、マザーファンドといいます。）を高位に組み入れ、世界のリアル資産関連株式に実質的に投資しました。残余部分はインベスコ マネーピール・ファンド（適格機関投資家私募投信）（以下、マネーピール・ファンドといいます。）を組み入れ、安定した収益の確保を図りました。また、実質外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いませんでした。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ レスピシブル・グローバル・リアル・アセット・ファンド クラスC-Acc投資信託証券（米ドル建て）に投資を行いました。同外国投資信託では、世界の不動産関連企業、不動産投資信託および不動産投資法人（類似のものを含みます。）、インフラストラクチャー関連企業、自然资源関連企業ならびに森林関連企業などが発行する株式に投資を行い、ファンダメンタルズ分析およびE S G評価に基づき、長期的な成長性および割安度を重視してポートフォリオを構築しました。具体的には、当造成期末にかけて、ファンダメンタルズの良好なインフラストラクチャー関連株式の組入比率を相対的に高めに維持しました。また、自然资源や森林関連株式の組入比率を前作成期と同程度に維持しました。国別配分では、米国を中心として、カナダ、英国の組み入れを高めとしました。

マネーピール・ファンドでは、資産規模などを勘案し、短期金融商品による運用を行いました。

＜E S Gを主要な要素として選定する投資対象への投資額の比率について＞

投資先ファンドにおける組入資産ベースで100%を目安とします。2024年2月29日時点の投資先ファンドにおける組入比率は100.16%です。

(注) マザーファンドが主要投資対象とする「インベスコ レスピシブル・グローバル・リアル・アセット・ファンド クラスC-Acc投資信託証券（米ドル建て）」の純資産総額に対する割合です。

＜インベスコのスチュワードシップ方針＞

当社およびインベスコ・グループ全体におけるスチュワードシップに関する取り組みについては、以下をご参照ください。

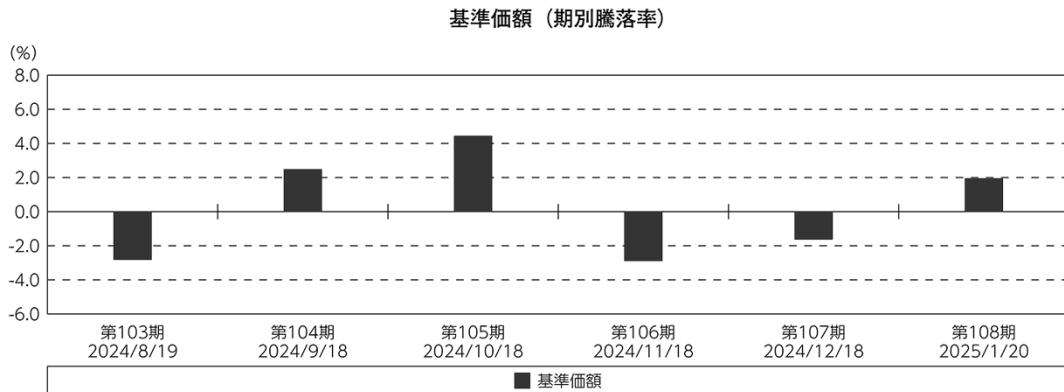
スチュワードシップ・レポート

<https://www.invesco.com/jp/ja/policies/stewardship-report.html>

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

下記のグラフは、当作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率（分配金込み）です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、第103期から第108期は1万口当たり60円（全て税込み）とさせていただきました。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
	2024年7月19日～ 2024年8月19日	2024年8月20日～ 2024年9月18日	2024年9月19日～ 2024年10月18日	2024年10月19日～ 2024年11月18日	2024年11月19日～ 2024年12月18日	2024年12月19日～ 2025年1月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	60 0.743%	60 0.730%	60 0.705%	60 0.731%	60 0.748%	60 0.739%
当期の収益	—	0	0	—	—	0
当期の収益以外	60	59	59	60	60	59
翌期繰越分配対象額	5,690	5,630	5,570	5,510	5,450	5,390

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

マザーファンドを高位に組み入れ、世界のリアル資産関連株式に実質的に投資します。残余部分はマネーパール・ファンドを組み入れ、安定した収益の確保を図ります。実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わない方針です。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ レスポンシブル・グローバル・リアル・アセット・ファンド クラスC-Acc投資信託証券（米ドル建て）に投資を行います。同外国投資信託では、世界の不動産関連企業、不動産投資信託および不動産投資法人（類似のものを含みます。）、インフラストラクチャー関連企業、自然資源関連企業ならびに森林関連企業などが発行する株式に投資を行い、ファンダメンタルズ分析およびE S G評価に基づき、長期的な成長性および割安度を重視してポートフォリオを構築します。具体的には、銘柄選定において、投資対象企業の保有する実物資産のクオリティ、財務体質、経営方針などに着目します。また、地域やセクター分析を通じて相対的に高い利益および配当成長を生み出す企業を見極める方針です。

マネーパール・ファンドでは、円貨建ての短期公社債および短期金融商品を中心に運用を行います。

○ 1万口当たりの費用明細

(2024年7月19日～2025年1月20日)

項目	第103期～第108期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 36	% 0.437	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(2)	(0.028)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(32)	(0.392)	購入後の情報提供、運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(1)	(0.017)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他の費用	6	0.077	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.023)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.014)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用)	(3)	(0.040)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
合計	42	0.514	
作成期間の平均基準価額は、8,173円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

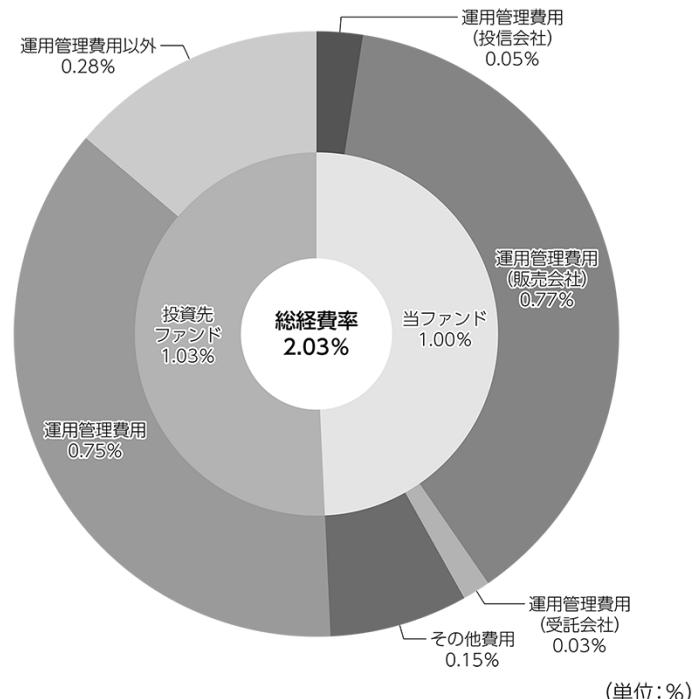
(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.03%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、親投資信託を通じて当ファンドが組み入れている投資信託証券および当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年7月19日～2025年1月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第103期～第108期			
	設定期		解約	
	口数	金額	口数	金額
千円 インベスコ リアル資産成長 マザーファンド	15,377	28,506	15,229	27,913

(注) 単位未満は切捨てています。

○利害関係人との取引状況等

(2024年7月19日～2025年1月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年1月20日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	第102期末		第108期末		
	口数	口数	評価額	比率	
千円 インベスコ マネーブール・ファンド(適格機関投資家私募投信)	49	49	49	49	0.1
合計	49	49	49	49	0.1

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てています。

親投資信託残高

銘柄	第102期末		第108期末	
	口数	口数	評価額	
千円 インベスコ リアル資産成長 マザーファンド	26,998	27,145	50,686	

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てています。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

(2025年1月20日現在)

○投資信託財産の構成

項目	第108期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 49	% 0.1
インベスコ リアル資産成長 マザーファンド	50,686	94.6
コール・ローン等、その他	2,843	5.3
投資信託財産総額	53,578	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨てでています。

(注) インベスコ リアル資産成長 マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(52,080千円)の投資信託財産総額(53,529千円)に対する比率は97.3%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2025年1月20日における邦貨換算レートは、1米ドル=156.08円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末	第108期末
	2024年8月19日現在	2024年9月18日現在	2024年10月18日現在	2024年11月18日現在	2024年12月18日現在	2025年1月20日現在
(A) 資産	円 47,793,343	円 48,966,954	円 55,089,744	円 53,291,759	円 52,586,523	円 53,578,612
投資信託受益証券(評価額)	49,616	49,616	49,616	49,616	49,621	49,626
インベスコ リアル資産成長 マザーファンド(評価額)	47,743,513	48,917,314	55,040,102	53,210,646	52,536,883	50,686,604
未収入金	214	24	26	31,497	19	2,842,382
(B) 負債	395,825	398,186	431,264	465,743	435,650	3,262,836
未払収益分配金	354,714	357,342	387,824	388,761	393,067	374,810
未払解約金	214	36	2,564	31,929	28	2,842,394
未払信託報酬	36,268	36,187	36,247	39,951	37,739	40,463
その他未払費用	4,629	4,621	4,629	5,102	4,816	5,169
(C) 純資産総額(A-B)	47,397,518	48,568,768	54,658,480	52,826,016	52,150,873	50,315,776
元本	59,119,111	59,557,008	64,637,453	64,793,653	65,511,196	62,468,409
次期繰越損益金	△11,721,593	△10,988,240	△9,978,973	△11,967,637	△13,360,323	△12,152,633
(D) 受益権総口数	59,119,111口	59,557,008口	64,637,453口	64,793,653口	65,511,196口	62,468,409口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,017円	8,155円	8,456円	8,153円	7,961円	8,055円

<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(注) 当ファンドの第103期首元本額は59,123,876円、第103～108期中追加設定元本額は34,458,762円、第103～108期中一部解約元本額は31,114,229円です。

(注) 2025年1月20日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は12,152,633円です。

○損益の状況

項目	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
	2024年7月19日～ 2024年8月19日	2024年8月20日～ 2024年9月18日	2024年9月19日～ 2024年10月18日	2024年10月19日～ 2024年11月18日	2024年11月19日～ 2024年12月18日	2024年12月19日～ 2025年1月20日
(A) 有価証券売買損益	円	円	円	円	円	円
売買益	△ 1,339,238	1,115,574	2,275,911	△ 1,485,656	△ 840,202	1,006,133
売買損	28,784	1,166,854	2,285,635	96,157	795	1,023,336
(B) 信託報酬等	△ 1,368,022	△ 51,280	△ 9,724	△ 1,581,813	△ 840,997	△ 17,203
(C) 当期損益金(A+B)	△ 40,897	△ 40,808	△ 40,876	△ 45,053	△ 42,555	△ 45,632
(D) 前期繰越損益金	△ 1,380,135	1,074,766	2,235,035	△ 1,530,709	△ 882,757	960,501
(E) 追加信託差損益金	11,676,610	8,198,610	8,909,888	9,029,283	7,026,855	5,436,215
(F) (配当等相当額)	△21,663,354	△19,904,274	△20,736,072	△19,077,450	△19,111,354	△18,174,539
(G) (売買損益相当額)	(14,466,830)	(18,077,703)	(20,948,817)	(23,454,974)	(23,993,382)	(22,976,130)
(H) 計(C+D+E)	△11,366,879	△10,630,898	△9,591,149	△11,578,876	△12,967,256	△11,777,823
(I) 収益分配金	△ 354,714	△ 357,342	△ 387,824	△ 388,761	△ 393,067	△ 374,810
(J) 次期繰越損益金(F+G)	△11,721,593	△10,988,240	△9,978,973	△11,967,637	△13,360,323	△12,152,633
(K) 追加信託差損益金	△21,663,354	△19,904,274	△20,736,072	△19,077,450	△19,111,354	△18,174,539
(L) (配当等相当額)	(14,466,830)	(18,077,720)	(20,949,029)	(23,454,996)	(23,993,382)	(22,976,130)
(M) (売買損益相当額)	(△36,130,184)	(△37,981,994)	(△41,685,101)	(△42,532,446)	(△43,104,736)	(△41,150,669)
(N) 分配準備積立金	19,174,862	15,455,765	15,060,179	12,252,435	11,716,407	10,700,353
(O) 繰越損益金	△ 9,233,101	△ 6,539,731	△ 4,303,080	△ 5,142,622	△ 5,965,376	△ 4,678,447

(注) (A) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金の計算過程は以下の通りです。

	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
(A) 配当等収益(費用控除後)	0円	289円	2,899円	0円	0円	114円
(B) 有価証券売買等損益(費用控除後)	0	0	0	0	0	0
(C) 収益調整金	14,466,830	18,077,720	20,949,029	23,454,996	23,993,382	22,976,130
(D) 分配準備積立金	19,529,576	15,812,818	15,445,104	12,641,196	12,109,474	11,075,049
分配可能額(A+B+C+D) (1万口当たり分配可能額)	33,996,406 (5,750)	33,890,827 (5,690)	36,397,032 (5,630)	36,096,192 (5,570)	36,102,856 (5,510)	34,051,293 (5,450)
収益分配金 (1万口当たり収益分配金)	354,714 (60)	357,342 (60)	387,824 (60)	388,761 (60)	393,067 (60)	374,810 (60)

○分配金のお知らせ

	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
1万口当たり分配金(税込み)	60円	60円	60円	60円	60円	60円

インベスコ リアル資産成長 マザーファンド

運用報告書

第18期

決算日 2025年1月20日

(計算期間：2024年7月19日から2025年1月20日まで)

運用方針	<ul style="list-style-type: none">別に定める投資信託証券への投資を通じて、世界のリアル資産関連株式に実質的に投資します。投資信託証券への投資割合は、原則として、高位に保ちます。実質外貨建資産については、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。投資対象とする投資信託証券は、委託者の判断により変更することがあります。
主要運用対象	<p>別に定める投資信託証券※</p> <p>※別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ レスポンシブル・グローバル・リアル・アセット・ファンド クラスC-Acc投資信託証券（米ドル建て）です。</p>
組入制限	<ul style="list-style-type: none">投資信託証券への投資割合には制限を設けません。株式への直接投資は行いません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。デリバティブ取引の直接利用は行いません。

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<https://www.invesco.com/jp/ja/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			投証組	資信入比率	託券率	純総資産額
	期騰	中落	率%				
14期(2023年1月18日)	円 14,715		% △ 3.2			% 97.4	百万円 39
15期(2023年7月18日)	15,470		5.1			98.3	41
16期(2024年1月18日)	16,483		6.5			94.4	44
17期(2024年7月18日)	18,328		11.2			94.9	49
18期(2025年1月20日)	18,672		1.9			97.5	50

(注) 基準価額は1万口当たりです。

(注) 当ファンドは、世界の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されているリアル資産関連株式に投資するため、当ファンドと比較する適切なベンチマークまたは参考指標が存在しません。このためベンチマークまたは参考指標を掲載していません。以下同じです。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額			投証組	資信入比率	託券率
	騰	落	率%			
(期首) 2024年7月18日	円 18,328		% —			% 94.9
7月末	17,963		% △2.0			93.7
8月末	18,037		% △1.6			79.0
9月末	18,379		% 0.3			96.3
10月末	18,850		% 2.8			96.5
11月末	18,790		% 2.5			97.1
12月末	18,472		% 0.8			97.5
(期末) 2025年1月20日	18,672		% 1.9			97.5

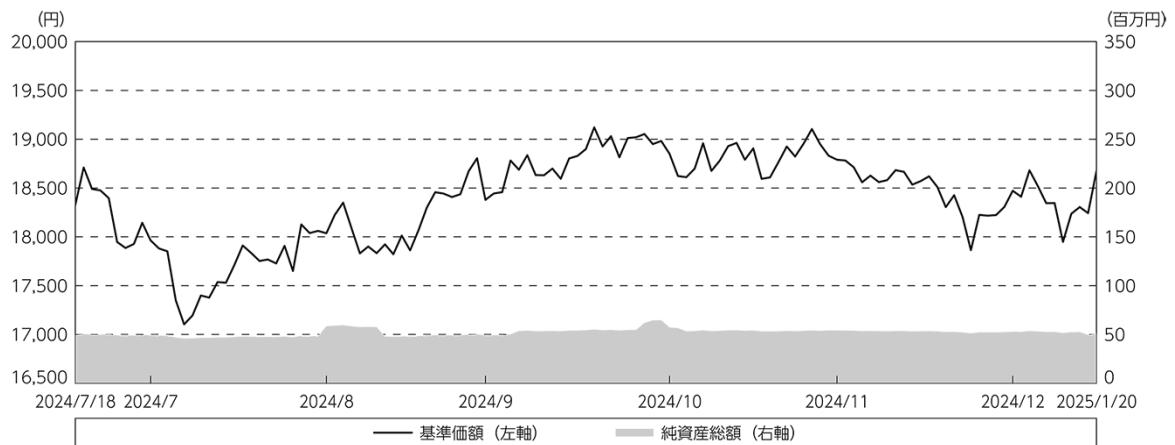
(注) 基準価額は1万口当たりです。

(注) 謄落率は期首比です。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2024年7月19日～2025年1月20日)



期首：18,328円
期末：18,672円
騰落率： 1.9%

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- 世界のリアル資産関連株式などを実質的な主要投資対象としていることから、実質的に保有する不動産（R E I Tを含む）、インフラストラクチャー、自然資源、そして森林関連株式から得られるインカム・リターンが基準価額の上昇要因となりました。
- ファンダメンタルズ分析およびE S G評価に基づき、長期的な成長性および割安度を重視してポートフォリオを構築した結果、当期間中に業績見通しの上方修正を行ったTarga Resources社（ミッドストリーム事業）などのインフラストラクチャー関連株式が期中を通して堅調に推移したことが、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- 当期間中における米国長期金利の上昇や米国における産業施設や生命科学研究施設のファンダメンタルズの軟化などを背景に、Prologis社やAlexandria Real Estate Equities社などの不動産関連株式が期中を通して下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境

リアル資産関連株式 (S&P Real Assets Equity Total Return Index; 米ドルベース)	+3.2%
世界株式 (MSCI World Net Total Return USD Index; 米ドルベース)	+6.4%
米ドル／円 156円08銭（前期末 155円86銭）	

※各指数の騰落率は当期末時点（対前期末比）、米ドル／円は当期末の数値です。

《グローバル株式市場》

グローバル株式市場は、2024年の年央から2025年の年初にかけて米国における利下げ開始、強い人工知能（A I）需要の継続、底堅い企業業績などが確認された中で、期中を通して多数のセクターが堅調に推移しました。

米国では、期を通して、米連邦準備理事会（F R B）による利下げ開始やトランプ氏の大統領選挙の当選や今後の政策への期待などを背景に、裁量消費株を中心に上昇しました。欧州では、欧州中央銀行（E C B）による利下げ継続や世界経済が堅調に推移するとの見方などが支えとなり、期中を通して上昇基調となりました。アジアでは、日本については追加の利上げがなされたことなどが市場心理の悪化に繋がり、上値の重い展開となりました。一方で、中国では期中に発表された追加の金融緩和策や株式・不動産市場の支援策などが好感され、当期の期初から期央にかけて堅調に推移しました。

また、リアル資産関連株式に関して、天然ガス価格の上昇を受けて、ミッドストリーム関連銘柄を中心にインフラストラクチャー関連株式が堅調に推移しました。不動産関連株式については、長期金利の上昇や産業施設R E I Tなど一部セクターのファンダメンタルズ軟化などが嫌気され、上値の重い展開となりました。森林および自然資源関連株式については、木材、金、アルミニウム、トウモロコシなどのコモディティ価格が当期間中に上昇したことなどが好感され、期中を通して底堅く推移しました。

《為替市場》

当期中、米ドル／円は乱高下する場面が見られたものの、前期末比でほぼ横ばいとなりました。期の前半は、米国における利下げ開始期待などを背景に長期金利は低下し、米ドル安／円高が進行しました。しかし、その後は利下げペースの減速懸念などが広がり、米ドル高／円安に転じました。

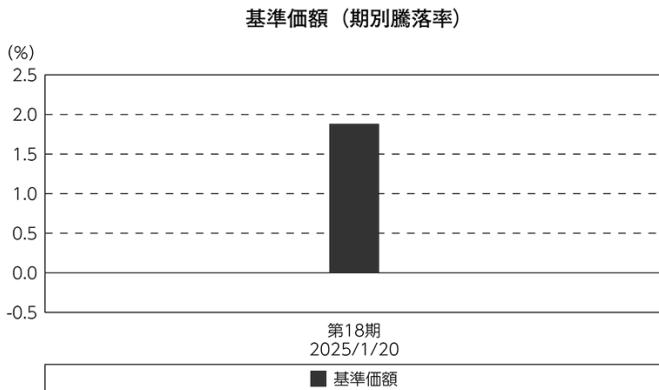
当ファンドのポートフォリオ

主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ レスポンシブル・グローバル・リアル・アセット・ファンド クラスC-Acc投資信託証券（米ドル建て）に投資を行いました。同外国投資信託では、世界の不動産関連企業、不動産投資信託および不動産投資法人（類似のものを含みます。）、インフラストラクチャー関連企業、自然资源関連企業ならびに森林関連企業などが発行する株式に投資を行い、ファンダメンタルズ分析およびE SG評価に基づき、長期的な成長性および割安度を重視してポートフォリオを構築しました。具体的には、当期末にかけて、ファンダメンタルズの良好なインフラストラクチャー関連株式の組入比率を相対的に高めに維持しました。また、自然资源や森林関連株式の組入比率を前期と同程度に維持しました。国別配分では、米国を中心として、カナダ、英国の組み入れを高めとしました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

右記のグラフは、当期中の当ファンドの基準価額騰落率です。



○今後の運用方針

主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ レスponsible・グローバル・リアル・アセット・ファンド クラスC-Acc投資信託証券（米ドル建て）に投資を行います。同外国投資信託では、世界の不動産関連企業、不動産投資信託および不動産投資法人（類似のものを含みます。）、インフラストラクチャー関連企業、自然资源関連企業ならびに森林関連企業などが発行する株式に投資を行い、ファンダメンタルズ分析およびE SG評価に基づき、長期的な成長性および割安度を重視してポートフォリオを構築します。具体的には、銘柄選定において、投資対象企業の保有する実物資産のクオリティ、財務体質、経営方針などに着目します。また、地域やセクター分析を通じて相対的に高い利益および配当成長を生み出す企業を見極める方針です。

○当ファンドのデータ

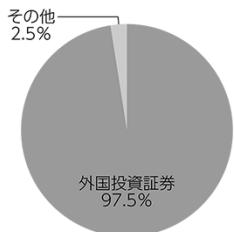
(2025年1月20日現在)

【組入上位ファンド】

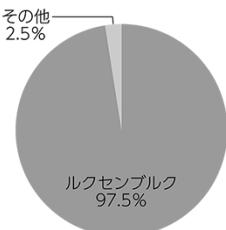
銘柄名	第18期末
	%
インベスコ レスポンシブル・グローバル・リアル・アセット・ファンド クラスC-Acc	97.5
組入銘柄数	1銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

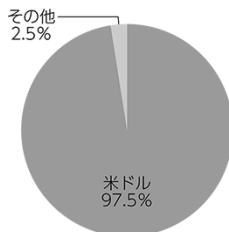
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍（所在国）などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

○ 1万口当たりの費用明細

(2024年7月19日～2025年1月20日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他の費用 (保管費用)	円 (4)	% (0.023)	(a) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合計	4	0.023	
期中の平均基準価額は、18,415円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入しております。

○ 売買及び取引の状況

(2024年7月19日～2025年1月20日)

投資信託証券

銘柄	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
外 国 アメリカ インベスコ レスポンシブル・グローバル・リアル・アセット・ファンド クラス-Acc	千口 7	千米ドル 151	千口 7	千米ドル 138

(注) 金額は受渡代金です。

(注) 単位未満は切捨てています。

○ 利害関係人との取引状況等

(2024年7月19日～2025年1月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年1月20日現在)

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当期末		
	口数	口数	評価額		比率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ) インベスコ レスポンシブル・グローバル・リアル・アセット・ファンド クラスC-acc	千口 16	千口 16	千米ドル 316	千円 49,423	% 97.5
合計	口数・金額	16	16	316	49,423
	銘柄数 <比率>	1	1	<97.5%>	

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 口数および評価額の単位未満は切捨てています。

○投資信託財産の構成

(2025年1月20日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
投資証券	千円 49,423	% 92.3
コール・ローン等、その他	4,106	7.7
投資信託財産総額	53,529	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てています。

(注) 当期末における外貨建純資産(52,080千円)の投資信託財産総額(53,529千円)に対する比率は97.3%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので。なお、2025年1月20日における邦貨換算レートは、1米ドル=156.08円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年1月20日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円
コール・ローン等	56,182,992
投資証券(評価額)	1,422,733
未収入金	49,423,671
未収利息	5,336,584
△	4
(B) 負債	5,495,441
未払金	2,653,059
未払解約金	2,842,382
(C) 純資産総額(A-B)	50,687,551
元本	27,145,782
次期繰越損益金	23,541,769
(D) 受益権総口数	27,145,782口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,672円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

1. 期首元本額	26,998,091円
期中追加設定元本額	15,377,300円
期中一部解約元本額	15,229,609円
2. 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額	27,145,782円
合計	27,145,782円

○損益の状況 (2024年7月19日～2025年1月20日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円 4,556
受取利息	4,556
(B) 有価証券売買損益	619,447
売買益	1,646,009
売買損	△ 1,026,562
(C) 保管費用等	△ 12,411
(D) 当期損益金(A+B+C)	611,592
(E) 前期繰越損益金	22,484,420
(F) 追加信託差損益金	13,129,690
(G) 解約差損益金	△ 12,683,933
(H) 計(D+E+F+G)	23,541,769
次期繰越損益金(H)	23,541,769

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 保管費用等は、外貨建資産の保管に係る費用等です。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(参考情報)

ルクセンブルグ籍外国投資法人 インベスコ レスポンシブル・グローバル・リアル・アセツ・ファンド

「インベスコ リアル資産成長 マザーファンド」が主要投資対象としている「インベスコ レスponsible・グローバル・リアル・アセツ・ファンド」の直近の情報は以下の通りです。

当ファンドは、「インベスコ リアル資産成長 マザーファンド」が投資対象とするルクセンブルグ籍外国投資法人が発行するクラスC-Acc投資信託証券（米ドル建て）です。

○ファンドの仕組み

形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人
主要投資対象	当ファンドで定めているESG評価基準を満たす世界の不動産関連企業、不動産投資信託および不動産投資法人（類似のものを含みます。）、インフラストラクチャー関連企業、自然資源関連企業ならびに森林関連企業などが発行する株式に投資します。
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・当ファンドは、長期的な元本の成長を目的とします。 ・主として、当ファンドで定めているESG評価基準を満たす世界の不動産関連企業、不動産投資信託および不動産投資法人（類似のものを含みます。）、インフラストラクチャー関連企業、自然資源関連企業ならびに森林関連企業などが発行する株式に投資します。 <p>* 株式には不動産投資信託証券が含まれます。</p>
管理会社	インベスコ・マネジメント・エス・エイ
投資顧問会社	インベスコ・アドバイザーズ・インク
決算日	毎年2月末日
分配方針	分配の支払いは行われません。

インベスコ レスピンシブル・グローバル・リアル・アセット・ファンドは、現地の法律に基づいて財務諸表が作成され、公認会計士により財務書類の監査を受けております。以下に掲載している情報は、2024年2月29日現在のFINANCIAL STATEMENTSから抜粋しております。

○損益計算書及び純資産額変動計算書

(2024年2月29日に終了した年度)
(単位：米ドル)

収益	
受取配当金	596,337
受取利息	2,192
証券貸付利息	5,938
	604,467
費用	
運用及び投資顧問会社報酬	230,705
サービス代行報酬	43,294
保管報酬	4,735
税金	9,764
事務代行費用	64,676
その他運営費用	4,264
その他支払利息	(55,331)
	409,558
当期投資純利益／（損失）	302,360
支払及び未払分配金	(104,399)
受益証券発行／（買戻）による純収益／（支払）金	(2,791,327)
投資有価証券、デリバティブ及び外国通貨等の処分に係る実現純利益／（損失）	(54,372)
為替先物予約に係る未実現評価益／損の純変動額	85,705
投資有価証券に係る未実現評価益／損の純変動額	(607,276)
外国通貨及びその他取引に係る未実現評価益／損の純変動額	257
期首純資産額	21,817,700
期末純資産額	18,648,648

○投資有価証券明細表

(2024年2月29日現在)			
銘柄	額面／株数	時価 (米ドル)	純資産に占める 割合 (%)
公的な証券取引所に上場を認められているまたは他の規制市場で取引されている譲渡性のある有価証券			
株式			
オーストラリア			
Dexus	43,441	206,741	1.11
Transurban Group	16,117	141,375	0.76
		348,116	1.87
カナダ			
Agnico Eagle Mines Ltd	4,948	237,129	1.27
Canadian Apartment Properties REIT	4,500	158,827	0.85
Canfor Corp	32,450	398,502	2.14
Enbridge Inc	27,826	955,608	5.12
Interfor Corp	24,111	362,624	1.94
Keyera Corp	10,369	254,690	1.37
Nutrien Ltd	6,023	317,128	1.70
Pembina Pipeline Corp	3,361	116,529	0.63
RioCan Real Estate Investment Trust	26,500	354,191	1.90
		3,155,228	16.92
ケイマン諸島			
ENN Energy Holdings Ltd	40,100	328,354	1.76
フィンランド			
Stora Enso Oyj	15,325	191,528	1.03
フランス			
Vinci SA	3,327	427,190	2.29
香港			
Hang Lung Properties Ltd	324,000	349,121	1.87
Link REIT	74,400	369,283	1.98
Swire Properties Ltd	68,400	140,938	0.76
		859,342	4.61
イタリア			
Infrastrutture Wireless Italiane SpA 144A	27,103	303,048	1.63
日本			
GLP J-REIT	277	219,782	1.18
Mitsui Fudosan Co Ltd	9,500	257,139	1.38

インベスコ リアル資産成長 マザーファンド

銘柄	額面／株数	時価 (米ドル)	純資産に占める 割合 (%)
Nippon Prologis REIT Inc	136	228,022	1.22
		704,943	3.78
メキシコ			
Grupo Aeroportuario del Pacifico SAB de CV ADR	633	92,247	0.49
シンガポール			
CapitaLand Investment Ltd/Singapore	88,800	183,078	0.98
Frasers Logistics & Commercial Trust	224,100	170,594	0.92
		353,672	1.90
スペイン			
Cellnex Telecom SA 144A	17,580	629,131	3.37
スウェーデン			
Billerud Aktiebolag	15,996	136,603	0.73
イギリス			
Derwent London Plc	1,909	46,645	0.25
National Grid Plc	43,458	573,818	3.08
Safestore Holdings Plc	41,774	407,576	2.18
		1,028,039	5.51
アメリカ			
Agree Realty Corp	6,796	375,542	2.01
Alexandria Real Estate Equities Inc	3,013	364,913	1.96
American Tower Corp	3,326	643,820	3.45
American Water Works Co Inc	4,782	563,571	3.02
Archer-Daniels-Midland Co	3,993	211,548	1.13
Camden Property Trust	4,115	385,335	2.07
Cheniere Energy Inc	4,035	616,929	3.31
Corteva Inc	4,900	267,000	1.43
Digital Realty Trust Inc	922	131,393	0.71
Equinix Inc	818	727,897	3.90
Essential Utilities Inc	15,898	552,858	2.97
Healthpeak Properties Inc	18,197	300,692	1.61
Invitation Homes Inc	9,229	309,865	1.66
Kinder Morgan Inc	26,622	456,490	2.45
ONEOK Inc	6,722	499,495	2.68
Prologis Inc	5,015	670,845	3.60
Public Storage	1,990	557,395	2.99
RLJ Lodging Trust	7,125	83,690	0.45

インベスコ リアル資産成長 マザーファンド

銘柄	額面／株数	時価 (米ドル)	純資産に占める 割合 (%)
SBA Communications Corp	476	97, 546	0. 52
Simon Property Group Inc	1, 301	194, 608	1. 04
SITE Centers Corp	13, 273	180, 887	0. 97
Summit Hotel Properties Inc	19, 509	128, 071	0. 69
Sun Communities Inc	3, 426	449, 290	2. 41
Targa Resources Corp	6, 485	631, 068	3. 38
Ventas Inc	5, 194	220, 414	1. 18
Williams Cos Inc/The	14, 186	499, 806	2. 68
		10, 120, 968	54. 27
株式合計		18, 678, 409	100. 16
公的な証券取引所に上場を認められているまたは他の規制市場で取引されている譲渡性のある有価証券合計		18, 678, 409	100. 16
投資有価証券合計		18, 678, 409	100. 16

(参考情報)

インベスコ マネーポール・ファンド（適格機関投資家私募投信）

○ファンドの仕組み

商品分類	追加型投信／国内／債券
信託期間	無期限
運用方針	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を図ることを目標として運用を行います。
主要運用対象	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
組入制限	・株式への投資は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建て資産への投資は行いません。
分配方針	原則として年1回の毎決算時（11月20日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

○組入資産の明細

(2024年11月20日現在)

2024年11月20日現在、有価証券等の組入れはございません。

○損益の状況

(2023年11月21日～2024年11月20日)

項目	当期
(A) 配当等収益 受取利息 支払利息	4,761 5,457 △ 696
(B) 有価証券売買損益 売買益	198 198
(C) 信託報酬等	△ 4,084
(D) 当期損益金(A+B+C)	875
(E) 前期繰越損益金	△ 16,730
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額) (売買損益相当額)	△ 222,017 (△ 7,526) (△ 214,491)
(G) 計(D+E+F)	△ 237,872
(H) 収益分配金 次期繰越損益金(G+H)	0 △ 237,872
追加信託差損益金 (配当等相当額) (売買損益相当額)	△ 222,017 (△ 7,526) (△ 214,491)
分配準備積立金	887
繰越損益金	△ 16,742

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金の計算過程は以下の通りです。

計算期間末における費用控除後の配当収益(840円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、および分配準備積立金(47円)より分配対象収益は887円(1万口当たり0.27円)となりましたが、基準価額水準、市況動向等を勘案し、当期の分配を見合わせました。